

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.87 令和5年11月10日発行

ふくしまインフラツーリズム推進事業 令和5年度 第2回モニターツアー



福島県土木部では、インフラ施設を観光資源として活用する「インフラツーリズム」に取り組んでいます。令和4年度に県の重点事業としてスタートし、福島市西部地域でのモニターツアーやモデルコース造成、そして3月にはポータルサイトを開設しました。

令和5年度は県内全域に取組を拡大し、各地域ならではのモデルコースを造成するため、浜通り・会津地方を中心にモニターツアーを計4回開催しています。

今回は、令和5年度の第2回目となる **モニターツアー（南会津）の様子をご紹介します！**

【実施日】

令和5年9月9日（土）～10日（日）

【場 所】

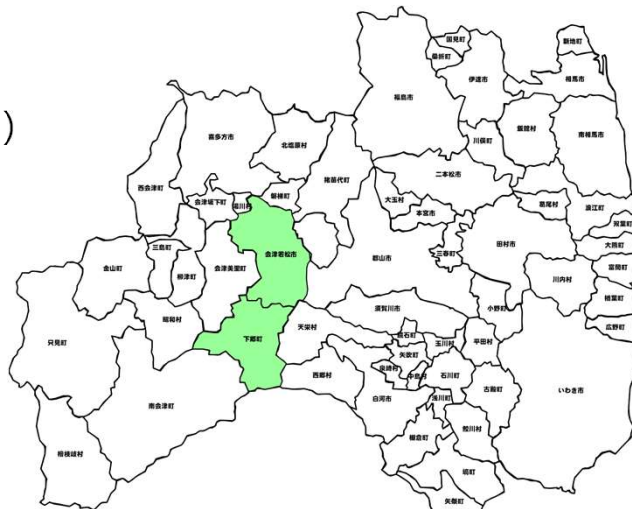
会津若松市、下郷町

【参加者】

県内外の10代から50代までの11名

（男性5名、女性6名、内お子様1名）

県のホームページ、JTBのメルマガにより、一般のモニター参加者を募集しました。



【概要・行程表】

9月9日（土）

- 11:28 会津若松駅（発）
- 11:28～11:49 会津鉄道 乗車
（～芦ノ牧温泉駅）
- 12:10～13:30 芦ノ牧温泉周辺 昼食
- 13:40～15:20 大川ダム 見学
- 15:30 湯野上温泉 藤龍館（泊）



9月10日（日）

- 08:30 湯野上温泉 藤龍館（発）
- 08:40～09:20 塔のへつり 見学
- 09:40～10:50 下郷大橋 橋梁・バイパス工事見学
- 11:10～13:00 大内宿 昼食・散策・買い物
- 14:00 会津若松駅（着）

①大川ダム

大川ダムは、阿賀野川総合開発事業の一環として建設された多目的ダムであり、国土交通省阿賀川河川事務所で管理を行っています。洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、工業用水の確保、揚水式及びダム式発電の役割を持っています。ダムには、資料館も併設し、広い公園は憩いの場にもなっています。

今回のツアーでは、大川ダムの歴史を資料館をとおして学び、施設見学を行いました。



▲ダムカードと一緒に記念撮影！



参加者の声

- ・ 実際に担当者の方からダム働きや仕組みの説明を聞いてよりダムが身近なものとして感じることが出来た。
- ・ 聞き慣れない言葉やダム特有の専門的なことを大変わかりやすい説明して頂き、理解を深めることができた。



▲様々な角度から大川ダムを見学しました！

②下郷大橋 橋梁・バイパス工事見学

国道118号小沼崎バイパスは、会津地方の復興支援と南北のアクセス向上のため整備された、会津若松市と南会津町を結ぶ全長約50kmの「会津縦貫南道路」の一部です。

下郷大橋は、この国道118号小沼崎バイパスが阿賀川の急峻な渓谷に架けられた、上路式RC固定アーチ橋です。アーチ部分は200mにおよび、コンクリートアーチ橋としてはアーチ部分が東北地方で最長で、全国でも8番目の長さとなります。現在は、照明灯など付帯施設の工事を進め、早期の供用開始を目指しています。

今回のツアーでは、普段は立ち入れない供用前の国道118号小沼崎バイパスを構造物や工法の説明を交えながら見学を行いました。



下郷大橋と田代トンネル（未供用）前で
記念撮影！



参加者の声

- ・ 完成したら絶対に通れない道を歩く事ができ、また、建設時に使用している工事車両が通る道を通り、下からアーチを眺めることができ、感動した。
- ・ 下郷大橋やトンネル建設がもたらす公共インフラとしての役割や、橋がどのようにして造られているのかを詳しく知ることが出来て勉強になったし、面白かった。

④モニターツアー全体について（参加者アンケートの声）

Q. ツアー全体をとおして、必要な工夫・アイデアがあれば教えてください。

- ・ 現代の先端インフラは勿論大事ですが、**歴史の中にあつた別の意味のインフラという視点**が散りばめられていたら、更にワクワクする気がする。
- ・ インフラの説明を聞くプラスで**こんな事やる事が出来た、という体験があると更にいい思い出として残る**と思う。

Q. インフラツーリズムに対して参加前どのような印象でしたか？また、参加してその印象はどのように変わりましたか？

- ・ とても素晴らしいツアーでした！期待以上に満足です。インフラのリアリティが非常に増しました。インフラだからこそ地域性や歴史的な背景が良くわかりました。また、更にこの地域に興味が増して、改めて季節を変えながら訪れたいとおもいました。
- ・ 国や県、市の事業の裏側ということで難しい感じかと思いましたが、ドキドキワクワク、子供も大人も楽しめる内容だった。大きな施設を作るということは、長い年月がかかっていて大変なことだけど、関係者の方々が信念を持って、誇りを持って携わっていることがわかり、ダムや橋を見る目がこれから変わると思った。

📌 今後、ご紹介するモニターツアー

- ・ 第3回モニターツアー（相双） 令和5年10月14日、15日
- ・ 第4回モニターツアー（会津） 令和5年10月28日、29日

📝 編集後記 📝

今回のモニターツアーでは、初めて工事中の現場を取り入れてみましたが、供用前の橋やトンネルを歩くという今しかできない希少な体験に、参加者の皆様からも大変ご好評をいただきました。一方、工事現場は日々刻々と状況が変わるため観光先としての取扱いが難しいことや、供用後の活用方法については、今後の課題となりました。

また、これまでのモニターツアーのなかで、配付資料が邪魔になってしまうという声をいただきましたので、今回は見学中はパネルで説明し、見学後に資料をお配りすることとしました。ガイドに注目して説明を聞いていただけたほか、当日は大変暑かったこともあり手が空いたことで日傘を持ったり水分補給をしたりできたため、お客様にとってもスムーズな案内につながったと思います。

今回のアンケート結果などを踏まえ、引き続き、県内のインフラツーリズムの推進に取り組んでまいりますので、インフラ施設を活用したい取組や連携したいイベントなどがございましたら、ぜひ当課までお問い合わせください。

モニターツアーの様子や
県内のインフラ施設につ
いては、こちらのポータル
サイトで紹介していますの
で、ぜひご覧ください！



ふくしまインフラツーリズムポータルサイト
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/infra/>

【まちづくり瓦版発行元】

福島県土木部まちづくり推進課

○TEL 024-521-7511

○FAX 024-521-7956

○e-mail

machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

○URL

<http://www.pref.fukushima.jp/machi/>